

公民館報 No.255

令和7年5月1日発行

あなん

発行人●阿南町公民館編集部 編集人●公民館報編集委員会 印刷所●飯田共同印刷株式会社
連絡●〒399-1511 東條58-1 TEL 22-2270 FAX 22-2287
E-mail:kyouiku@town.anan.nagano.jp

Contents

- P1 表紙 遊歩道
- P2 帯川の話 (西尾実 著)
- P3 あなん情報発信局
令和7年度 公民館役員
- P4 私の趣味・自慢!
おらほの若い衆
- P5,6
あなんトピック
お知らせ・編集後記



スプリングてらす阿南平石農場 開催期間 4月19日～5月11日予定

遊歩道

横浜にいる高校の時の同級生が趣味で合唱をやっていて、演奏会のチケットを送ってくれたので、思いきって出かけてみました。

横浜並木男声合唱団30周年記念演奏会でした。「濡れ落ち葉」という言葉がはやったところに、そうならないようにと中高年男性が集まって始まったそうです。

60代からほぼ90代まで36名が、「オジサンだって輝ける、夢を求めて30年」をテーマに、歌って踊る楽しいステージでした。舞台上の段差の上り下りで、よろけたり転んだりしているのに、歌い出すと、「ヤングマン」とか「学園天国」とか、かっこよく踊ります。

客席も、おじいちゃん頑張れという暖かい雰囲気があって、とても楽しい2時間でした。

同じ頃、長野では栗生みなさんのコンサートがあって、応援に出かけた人も多いと思います。

音楽に限らず、また、年も関係なく、人が元気に頑張っている姿を見るのは気持ちいいものです。

著作 西尾 実

おびかわ
帯川の話

手習い師匠

西尾善右衛門

西尾善右衛門は、漢学者として近村に知られていたらしい。和合の「大屋」の二十六代目 宮下金吾が、青年時代に入門来学した折に、持参して植えてくれたという霧島つつじの

大きな木が、わたしの家の南側山裾の石垣の上に今もある水仙と呼ばれた小さな花壇に生き続けている。樹齢百数十年になる古木である。わたしの少年の頃は、毎年二米を越すその大株に、まっ赤な花がいっぱい咲き揃った。朝十時頃になって、東の山から昇った太陽が、その霧島の辺りにもさしてくると、まっ赤な花の輝きが、母の居間になっていった中の板や畳に反映して、赤く明るく照らして残っている。この西尾善右衛門は、お師匠様といわれて名を知られていたけれども、漢学者としては、弟子が大ぜいあったわけではなく、また深い研究を残しているわけでもない。土蔵の二階に残っていた本は、四書と大冊の千字文と武鑑ぐらゐのもので、五経さえも揃ってはいなかったが、山村帯川としては、優れた手習い師匠

であったろうと思われる。いま残っている善右衛門の画像は、わが家に残る唯一の祖先の画像である。わたしの生れるより前に白老という号の絵師が、泊まりこんでいて、唐紙の絵などといっしょに画いたものらしく、その讚の中に「有徳にして長命」という言葉がある。さらにそれに添えて、新野の瑞光院の久我直光老師の「算うれば永き久しき高砂の翁はここに鶴の巢ごもり」の和歌が書き加えられている。明治九年、九十六歳の長寿をたもって亡くなった直後に、筆を加えたものであろうか。

西尾善右衛門が、農家の主人として生活しながら、傘張りの翁として描かれているように、漢籍を読んだり、傘張をしたりしていたらしい。傘張りという仕事は、江戸時代に下級武士の内職であり、関所の番人が農民に教えたとみえ、下伊那郡では竜東阿島村は一村をあげて唐傘の産地になっている。帯川ではわたしの曾祖父だけが、蛇の目の傘を張っていたという。その傘張りの道具も、わたしの子供の頃には、二階の階段を上ったところに、黒い小さな小箱に入れられてあった。

この曾祖父の逸話として残っていたのは、農家に生活しながら、一生鎌も鎌も手にしたことがなかったということ、わたしは、年少の折和合尋常小学校の代用教員をし、後に師範学校を出て、農家に生れながら農業をしなかったという点でこの曾祖父に似

ていると言われた。そのころ、うちの農耕は卯助小父と呼ばれた青年が一切やってくれていたらしい。ところが、この卯助は農耕を好まず、山林経営に熱心だったため曾祖父の亡くなった後は、「瀬次場」に入った。「瀬次場」は山林を多く持っていたので、その経営に当って一生を終えた。

この卯助がわたしの家についてくれたころ、神隠しといって、一週間ぐらいい、何処へ行ったか、どこにいたか分からないでいて、帰ってくるのが時であった。多分そういう時であろう。曾祖父は、朝、馬に与える草を刈ってこなければならぬことになり、鎌を持ちち背板をしょって、上りの川原に行き、家の田の草刈場に行ったりけれども、ただ、その草刈場を行ったり来たりして、ちっとも草を刈らない。川向うの「瀬次場」の方から見ていて、「西のおじいさんはどうやら草刈りに来たけれどもちっとも草が刈れないよ。うだ。」と、若い者をよこして、草を刈って家に届けてくれたという話をよく聞かされた。

本格的な村の手習い師匠は、西尾善右衛門が最後で、わたしの祖父善七は、大石家から養子に来た人で、すこしは子供などを教えたらしいが、もっぱら農事にはげみ、勤儉にして家産を安定せしめた。だから、ちょうどその時代には、村の青少年に対する手習いも無ければ、新しい教育制度としての学校もまだ設けられていなかった。そんなわけで、わたしの父と

母の幼少の時代は、教育の欠如した時代であった。けれどもわたしの父は、家譲りの書道の稽古を祖父から受けた。また、村でも、「井戸入」の梅弥という少年は、わたしの祖父から書道の稽古を受けることを嫌がって、朝、わたしの家の庭まで来て、大戸につかまっただまま中に入ろうとしなかったというような笑い話が残っているところをみると、まだ学校制度がないころも、いくらか教育というもの芽生えはあったものとみえる。

祖父善七は、農家の経営に熱心で、今の家屋や土蔵を新築したのはこの祖父である。その他、西国旅行をして、どこどこで陶器を買って求め、新しい運送便に託したところ、その荷物が到着したのは三年後であったという話が残っている。

当時、新しい募兵制度が行われたらしく、養子は徴兵免除であったために、わたしの家でも善右衛門には男の子があつたけれども、そんな関係で、長男が新野の「大米屋」の養子となり、次男は新野の「山六」を継いだ。それで「大米屋」の小母さんは、「わたしは西の長男の嫁だ。」と言って、柿や栗のなる時期には、「西」とよばれていたわたしの家に一週間ぐらゐ滞り、新野は柿や栗のない土地だから、帯川へ来て、その生産物を集め、馬に積んで帰っていたという。帯川の「西」の嫁になっていたわたしの母の遠慮しながらもらした不平らしい言葉であった。

会場：ホクト文化ホール 中ホール

阿南町観光大使

Cru/栗生みなさんのワンマンライブ開催!!



あな ン 情 報 発 信 局

地元阿南町を
しっかりとPRしていただきました!
今後の活躍にも目が離せません!

令和7年度 公民館役員組織

名称	富 草		大 下 条		和 合		新 野	
公民館長	熊 谷 文 夫		伊 藤 幸 一		石 田 光 善		村 松 幸 廣	
社会部長								
体育部長								
主 事	北 野 緋 菜		関 研 吾		小 林 由 美		青 木 駿 也	
分館	分館長		分館	分館長		分館	分館長	
富	大 島	木 下 広 喜	大 下 条	大 北	板 倉 幸 裕	新 野	大 村	伊 東 英 幸
	大 恩	森 岡 一 雄		第 一	熊 谷 和 文		寺 山	金 田 保 昭
	雲雀沢	佐々木 主		大 二	城 田 良 久		原 町	熊 谷 斗 睦 洋
	栗 野	伊 藤 翼		中 央	松 澤 享		荒 木	小 野 田 健 太
		勝 野 英 貴		西 北	勝 又 光 明		東 町	後 藤 玲 央
	鷺 巣	勝 野 翔 太		大 西	生 嶋 泰 弘		本 町	佐 々 木 健 三
	門 原	石 田 敬 治		大 南	菅 沼 洋 平		砂 田	熊 谷 成 人
	浅 野	宮 崎 孝 之		西 南	宮 澤 計 仁		栃 洞	關 平 藏
草	鴨 目	佐 々 木 廣 賢	学 校 上	伊 東 浩 二		川 尻	伊 東 今 夫	
	梅 田	野 馬 一 雄	学 校 下	稻 垣 秀 三		矢 野		
	新木田・横 林	万 木 勝 己	日 吉 東 部	安 野 文 理 近 藤 幹 雄				

阿南町公民館 公民館報編集委員会

館長：伊藤 幸一 主事：関 研吾 小澤 亮子(富草) 松澤 みすみ(大下条) 宮下 金善(和合)

金原 渚(新野) 阿南町公民館長 各地区公民館主事

私の趣味・自慢!

富草 新木田

むらやま ひろし
村山 弘さん



これまでもさまざまなことには挑戦してきた富草の中部シニアクラブ倉田会長の発案で、放置竹林を有効活用するために、和合の井上湧さんを講師に迎え、「竹細工」の籠などの作り方を教わったことをきっかけに、弘さんは農作業が休閑になる冬期にコツコツ作り続けて3年目、ようやく籠らしい形が作れるようになり、これがなかなか好評で、欲しいという方へいくつもお嫁に出したそうです。弘さん曰く、「切る時期は秋、青竹



と淡竹（ハチク）に限り、特に梅田の竹は竹細工に向いているそうだ。まずは軽トラ一杯竹を切り出してきて作り続ければ上手になるよと言われて、それは大変なことだと痛感した」と笑います。切り出した竹を、専門の両刃の竹割りナタで8分の1に割り、巾7ミリ、厚さ1.5ミリに加工した竹ヒゴ作りが肝で最も大変。竹ヒゴをカーブさせるには少々火で炙る。籠はゴム手袋をして底から編んでいくのだそう、上までいったらステンレス製の針金で固定し、紐をつければ完成！器用なものです。ちなみに、講習会に参加した大勢のシニアクラブのみなさんの中で、籠を完成できたのは弘さんだけだと会長にお墨付を頂きました。

おうちの若い衆

新野 原町

うらやま かずえ
浦山 和恵さん



いまやっているお仕事は？
小中一貫教育校である阿南第二中学校・新野小学校で教員をしています。専門教科は英語ですが、個人的には「総合的な学習の時間」を特に大切にしております、地域の方々との交流や地域の素材を活かした教育に力を入れていきたいと考えています。日々、その思いを胸に仕事に励んでいます。

あなたの趣味

趣味は旅行で、写真を撮ることや現地の人と交流することが好きです。これまでに11カ国ほど訪れました。阿南町に来てからは、インドネシア人の友人と出会ったことをきっかけに、次はインドネシアに行ってみたくて考えています。

今後の目標や、やってみたいこと

最近、多くの人の「生きがい」や「やりがい」を知り、それらを言語化したり映像として表現したりしてみたいという思いが漠然と芽生えています。また、阿南町クリエイターチームの活動にも参加させていただいているので、学校やクリエイターチームでの活動を通じて、地域の方々とともに交流を深められたらうれしいです。どうぞよろしくお願いします。

あな ン ナビック

4月20日(日)

みんな集まれー！
クマポンズの春祭り

阿南かじかの湯内化石展示館
においてイベントが開催されま
した！水色のキッチンカーで美
味しい和合のアイスを販売して
いる「クマポンズ」さんを中心
として沢山のお店が集まり、盛
大に開催されました！

みんな集まれー！
クマポンズの春祭り
日時:4月20日(日)10:30-15:00
場所:阿南温泉かじかの湯内

化石館

ワークショップ

化石発掘体験
石絵づくり
開運キヲ氣学
リラクゼーションはる

フードショップ

みらぼたのたんぼば
cafe niwa nowa
和知野川キャンプ場さとのお
おともカAFE
三徳の増田和菓子店
リンディランド
クマポンズ

その他ショップ

石ころ屋
KIKERIKI
サコ館野木町タカラヤ商店
無人花屋のはな
三徳の駄菓子屋カー



おしらせ

5月24日(土)

音楽する社会講座
2026

主催 音楽する社会講座
実行委員会

後援 阿南町公民館

会場 かじかの湯化石展示館

参加料 無料

申込み 不要

講師 小川 博司 氏

1952年東京生まれ。関西
大学社会学部名誉教授。専門は
メディア文化研究、音楽社会学。
新野高原学生村に学生として入
村したのがきっかけで、新野と
の縁ができ、新野に家を建て、
盆踊りの音頭取りにもなった。
現在は、西宮の自宅と新野とを
行き来する生活をしている。

今回で、2回目となる講座！
「ふるさとソングの系譜―文部
省唱歌「故郷」から「川の流れ
のように」、そして嵐「ふるさ
と」まで」ということで音楽の
奥深さを教えてくれます！多く
の皆様のご参加お待ちしております！

令和7年度

6月28日(土)～8月31日(日)

阿南町公民館

海洋センター

シーズオープン！

今シーズンも、ナイトプー
ル・水辺の安全教室・SUP体
験・カヌー体験などのイベン
トを開催予定！

施設内も一部リニューアルし
て皆様をお待ちしております！
開館時間や休館日については、
町HP・SNS・公民館報7月
号へ掲載をいたします！

昨年に引き続き、フードドラ
イブ箱・能登半島地震 災害支
援募金・体験格差解消への取り
組みを応援する募金などを設置
しております。多くの方のご来
館お待ちしております！



公民館
なんでも
掲示板開設！

阿南町公民館に住民の方々の
声を聴き、公民館事業に活
かすために公民館なんでも掲
示板を開設しました。

Googleフォームを通じて、
公民館事業でやってもらいた
いこと・公民館報にのせても
らいたいことなど発信できる
場として活用してみてください
。多くの住民の方々の声を
お待ちしております！

公民館報なんでも掲示板



5月24日(土)
第25回

阿南町ゴルフコンペ

主催 阿南町ゴルフコンペ
実行委員会

共催 阿南町教育委員会

第25回を迎える阿南町ゴルフコンペを飯田カントリー倶楽部で開催いたします。募集につきましては、4月30日をもって締切をさせていただきます。大会の結果については、7月号にて掲載します。



7月20日(日)

愛知・長野県境域 スポーツ交流会

会場 阿南町体育施設

開催競技などの詳細については、7月号にて掲載します。

昨年種目

- ・ゲートボール
- ・ソフトバレーボール
- ・弓道
- ・SUP体験会



7月30日(水)

水引フックシヨンプ

会場 かじかの湯化石展示館

今年度も、(株)日開の里の職員の方を講師にお迎えして4回の開催を予定しております。多くの方のご参加をお待ちしております！

8月15日(金)

令和7年度

成人式

対象は、平成16年4月2日～平成17年4月1日までに生まれた方で、町内小学校卒業生・町内中学校卒業生、8月1日現在に現住所が阿南町にある方が対象となります。対象者の方には随時通知をお送りさせていただきます。

10月19日(日)

愛知・長野県境域 文化交流会

会場 豊根村

詳細につきましては、9月公民館報にて掲載します。

お詫び訂正

前号の「あなんとピック」に「第47回阿南町富草門原新春走ろう大会結果」を掲載させていただきました。

その際、2.0kmの部1位の熊谷和真さんの文字を誤っておりました。訂正をしてお詫び申し上げます。



迷惑電話

この頃家の留守番電話に、自動音声にて電気料プランの案内だとか、何かの最終通告などが録音されています。また、スマートフォンにも+記号から始まる電話がかかってきます。今のスマートフォンは、セキュリティ対策も上がっていて、迷惑電話や詐欺メールなどの可能性がなくなるなどの警告が出ます。

しかし、毎日のように新聞やニュースではネットや電話を使っている詐欺や犯罪の記事が載っています。スマートフォンは便利な一方いろいろな犯罪につながりやすい物としても気を付けられないといけません。お年寄りだけでなく、若い方たちも気を付けて使しましょう。

相談窓口のご案内

犯罪や事故に当たるのか分からないけれど、ストーカーやDV・悪質商法など警察に相談したいことがあるときには、警察相談専用電話「#9110」番をご利用ください。全国どこからでも、電話をかけた地域を管轄する警察本部などの相談窓口につながります。